

数列

$$\frac{1}{2}, \frac{1}{4}, \frac{2}{4}, \frac{1}{8}, \frac{2}{8}, \frac{4}{8}, \frac{1}{16}, \frac{2}{16}, \frac{4}{16}, \frac{8}{16}, \frac{1}{32}, \frac{2}{32}, \frac{4}{32}, \frac{8}{32}, \frac{16}{32}, \frac{1}{64}, \dots$$

の規則性を推測し、次の問いに答えよ。

- (1) 数列の各項を既約分数で表す。このとき、最初に現れる  $\frac{1}{128}$  は第何項か。また、2 回目に現れる  $\frac{1}{512}$  は第何項か。
- (2) 第 300 項を求めよ。ただし、既約分数で表せ。
- (3)  $k$  を自然数とする。  $n = 2k^2 + k + 1$  のとき、初項から第  $n$  項までの和を  $k$  を用いて表せ。

(25 徳島大 理工・医 (保) 3)

【答】

- (1)  $\frac{1}{128}$  は第 22 項,  $\frac{1}{512}$  は第 47 項
- (2)  $\frac{1}{2}$
- (3)  $2k - 1 + \frac{3}{2^{2k+1}}$

【解答】

$$\frac{1}{2}, \frac{1}{4}, \frac{2}{4}, \frac{1}{8}, \frac{2}{8}, \frac{4}{8}, \frac{1}{16}, \frac{2}{16}, \frac{4}{16}, \frac{8}{16}, \frac{1}{32}, \frac{2}{32}, \frac{4}{32}, \frac{8}{32}, \frac{16}{32}, \frac{1}{64}, \dots$$

$$\frac{1}{2} \left| \frac{1}{2^2}, \frac{2}{2^2} \right| \frac{1}{2^3}, \frac{2}{2^3}, \frac{2^2}{2^3} \left| \frac{1}{2^4}, \frac{2}{2^4}, \frac{2^2}{2^4}, \frac{2^3}{2^4} \right| \frac{1}{2^5}, \frac{2}{2^5}, \frac{2^2}{2^5}, \frac{2^3}{2^5}, \frac{2^4}{2^5} \left| \frac{1}{2^6}, \dots \right.$$

- (1) 与えられた数列において、分母が  $2^l$  である項を第  $l$  群とすると、第  $l$  群は

$$\frac{1}{2^l}, \frac{2}{2^l}, \frac{2^2}{2^l}, \dots, \frac{2^{l-1}}{2^l}$$

の  $l$  個の項が順に並ぶ。

$128 = 2^7$  であり、最初に現れる  $\frac{1}{128}$  は第 7 群の 1 番目の項であるから

$$\left( \sum_{l=1}^6 l \right) + 1 = \frac{6 \cdot 7}{2} + 1 = 22$$

すなわち、第 22 項 である。

……(答)

また、 $512 = 2^9$  であり、2 回目に現れる  $\frac{1}{512}$  は  $\frac{2}{2^{10}}$  であり、第 10 群の 2 番目の項であるから

$$\left( \sum_{l=1}^9 l \right) + 2 = \frac{9 \cdot 10}{2} + 2 = 47$$

すなわち、第 47 項 である。

……(答)

- (2) 第 300 項が第  $m$  群の項であるとすると

$$\sum_{l=1}^{m-1} l < 300 \leq \sum_{l=1}^m l$$

$$\frac{(m-1)m}{2} < 300 \leq \frac{m(m+1)}{2}$$

$$(m-1)m < 600 \leq m(m+1)$$

$24 \cdot 25 = 600$  であるから、 $m = 24$  であり、第 300 項は第 24 群の末項  $\frac{2^{24-1}}{2^{24}}$  である。既約分数で表すと  $\frac{1}{2}$  である。

……(答)

(3) (2) と同じく,  $n = 2k^2 + k + 1$  のとき, 第  $n$  項が第  $m$  群の項であるとする

$$\begin{aligned} \sum_{l=1}^{m-1} l &< 2k^2 + k + 1 \leq \sum_{l=1}^m l \\ \frac{(m-1)m}{2} &< 2k^2 + k + 1 \leq \frac{m(m+1)}{2} \\ \frac{(m-1)m}{2} &< \frac{2k(2k+1)}{2} + 1 \leq \frac{m(m+1)}{2} \end{aligned}$$

が成り立つ.  $m = 2k + 1$  であり, 第  $2k^2 + k + 1$  項は第  $2k + 1$  群の初項である.  
第  $l$  群の項の総和は

$$\sum_{j=0}^{l-1} \frac{2^j}{2^l} = \frac{\frac{2^l - 1}{2 - 1}}{2^l} = \frac{2^l - 1}{2^l}$$

であるから, 求める和は

$$\begin{aligned} &\left( \sum_{l=1}^{2k} \frac{2^l - 1}{2^l} \right) + \frac{1}{2^{2k+1}} \\ &= \sum_{l=1}^{2k} \left( 1 - \frac{1}{2^l} \right) + \frac{1}{2^{2k+1}} \\ &= 2k - \frac{1}{2} \frac{1 - \left( \frac{1}{2} \right)^{2k}}{1 - \frac{1}{2}} + \frac{1}{2^{2k+1}} \\ &= 2k - 1 + \frac{1}{2^{2k}} + \frac{1}{2^{2k+1}} \\ &= 2k - 1 + \frac{3}{2^{2k+1}} \end{aligned} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である.